

令和3年度「地域発 元気づくり支援金」事業実施結果(北信地域)

整理番号	主事業区分	タイプの別	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業)	総事業費 (円)	うち 支援金額 (円)	講評
1	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	公益社団法人中野青年会議所	中野市の郷土の魅力発掘・発信に資する事業	<p>地域の継続的な発展、若者のUターン増加に向け、地域の魅力を発信していくための解決策を、地域の高校生、地域外進学者、事業者、市役所職員に加え、関係人口候補となりうる地域外の人材等多種多様な視点で、全4回のプロジェクトを通じて探る。</p> <p>また、プロジェクトを通じ地域内外の人脈を得ることで郷土愛を深める。</p> <p>①全4回(地域課題テーマの抽出検討会、地域プロジェクト発掘アイデアソン、移住・関係人口パネルディスカッション、プロジェクト報告会)のイベント等費用(917)</p>	917,389	718,000	<ul style="list-style-type: none"> ・人口流出や若者人口の減少を食い止めるため、住民や関係者など様々な立場の人が、プロジェクトに参加したことで、地域の魅力の再発見や郷土愛を深めるきっかけとなった。 ・事業がディスカッションに留まることなく、実際に11のプロジェクト活動が実施され、100人を超える人が参加し、成果として現れている。 ・このうち3事業は継続の意向があり、引き続き中野市の魅力を発信する機会となることが期待される。
2	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	女神らいふ	女性の多様な働き方支援のための学び・交流の機会の企画提供	<p>子育て中の女性の多様な働き方支援のためのシェア・コワーキングスペースを整備するとともに、副業・小商売支援セミナーやマルシェを開催する。</p> <p>また、団体の活動を紹介するHP・リーフレットの作製しPRを行う。</p> <p>①HP・リーフレット制作等費用(501)</p>	501,410	401,000	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な働き方の広がりや、女性の活躍推進が求められる現代社会において、活躍する場所や方法を模索したり、起業や副業を始めたい女性にとってスキル等を学ぶ貴重な機会となった。 ・シェアハウスはアットホームな親しみやすい雰囲気となり、今後も多くの人の利用が期待される。 ・WEBセミナーや動画配信など、利用者が参加しやすい環境を整えながら女性が活躍する機会の創出が期待される。
3	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	Sakefeti(サケフェチ)	サケフェチプレゼント 地域の魅力満載!! 信州ソウルテイクアウト2021	<p>岳南地域の飲食店、酒販店、酒蔵の若手経営者で組織するSakefeti(サケフェチ)が、ゲスト飲食店とともに、北信地域の魅力的な食材を活かした創作料理と地酒のテイクアウトを実施する。</p> <p>6月～1月までの8か月に計16回実施し、創作料理は、毎回3店舗のゲスト飲食店を入れて販売する。</p> <p>①サケフェチテイクアウト費用(広告宣伝、容器、リーフレット等)(1,623)</p>	1,623,366	314,000	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大による行動制限の影響により、飲食店や酒販店等の売り上げが減少する中で、テイクアウト形式で開催したことにより多くの利用とリピーターの獲得につながり、北信地域の食材や酒をPRする機会となった。 ・季節ごとメニューを変えることで旬の食材を楽しむようにしたほか、連続して利用した購入者に対し特典サービスを提供するなど工夫を行った。 ・今後も、関係者と連携をしながらテイクアウトやイベントを実施し、地元の食や農産物をPRする機会の創出が期待される。

4	農業の振興と農山村づくり	ソフト	一般社団法人日本きのこマイスター協会	信州中野きのこ産業の歴史と未来事業	<p>R1年度、R2年度は、きのこ産業の歴史について、企画展を実施したが、R3年度は「きのこの未来を考える」をテーマに企画展を実施する。また親子料理教室、工場見学、収穫体験、栽培チャレンジ等のワークショップを実施し、すべての回（全3回）に参加した子どもには「キッズきのこマイスター」として認定する。</p> <p>10月には、きのこまつり、きのこ観察会を実施し、ミニ講演会や親子レクレーション行う。</p> <p>①企画展開催費用（展示パネル、リーフレット作成等）（1,896）、ワークショップ、イベント等（447）</p>	2,343,973	1,849,000	<p>・企画展は「きのこ産業の未来」をテーマに開催し、SDGsを念頭にした循環型きのこ栽培体制や、ICTを活用した課題解決策などを紹介し、きのこへの関心が広がるきっかけとなった。</p> <p>・ワークショップはお菓子作りや栽培にチャレンジなど、大人から子どもまで楽しく学べる内容で、地域の特産物を学ぶ機会を提供できた。</p> <p>・ワークショップでは受講した小学生をキッズきのこマイスターとして認定するなど、引き続き子どもの時からきのこについて学べる環境づくりが期待される。</p>
5	地域協働の推進	ハード	中野市	手づくり農村支援事業	<p>農村地域における高齢化や後継者不足による農作業等の負担軽減と効率化を図るため、地域の協働活動による農道・水路の補修・整備の直接施工や維持管理活動に必要な材料支給や重機の提供等の支援を行う。</p> <p>②農道舗装6地区(4,099)、水路改修10地区(5,978)</p>	10,077,856	4,968,000	<p>高齢化が進む農村地域での作業労力の軽減や、作業意欲向上が図られらほか、施工後は住民が地域に愛着を持ったおてんま作業等の維持管理につながった。</p>
6	教育、文化の振興	ソフト・ハード	特定非営利活動法人フォレスト工房もくり	<p>地元間伐材と古材を利用した活動拠点の整備を通じた林業、環境、建築、防災に関する課題解決と教育プログラムの構築</p>	<p>木材価格の低迷や担い手不足などにより、人工林を含め森林の管理は多くの課題を抱えている。現在、森林との関係性は希薄になり、森林・林業及び国産木材の現状やプロセスを知る機会がほとんどない。</p> <p>このため、森林・林業等に関する様々な課題を解決するために、信州大学と連携して、森林の大切さ、伐木・造材・木材加工の基本スキルの習得から間伐材等を活用した活動拠点の整備までの教育プログラムを実施する。</p> <p>①森に関する講義費用（講師謝金等）、伐木・造材・木材加工の基本スキルの習得と作業体験費用（工具代、チラシ作成費用等）（1,360）</p> <p>②間伐材と古材を活用した活動拠点の整備費用（丸太代、製材、基礎工事、設計・管理）（2,112）</p>	3,472,313	2,317,000	<p>・林業の担い手不足が深刻な中で、信州大学と連携し大学生を対象に森の形成や資源活用に関する講義や、伐木造材講習を通し、森への関心を引き出すとともに、人材育成の機会を創出した。</p> <p>・活動拠点整備では、授業では通常はできない基礎づくりから作業が体験でき、56人の参加者が作業し、基礎工事まで完了した。</p> <p>・講習を通した担い手や関係人口の創出に留まらず、ゼロカーボンや地域防災の視点を持った活動を積極的に取り入れ、活動の広がりが期待される。</p>
7	その他（産業の振興及び雇用の拡大）	ソフト・ハード	飯山仏壇事業協同組合	飯山仏壇「思い出供養・命の器」プロモーション展開事業	<p>国指定の伝統的工芸品である飯山仏壇は、ライフスタイルの変化などにより市場が縮小し、厳しい状況が続いている。R1年度から飯山仏壇の新たな価値を「思い出の門」としてPR活動を行い、R2年度は、元気づくり支援金を活用して、新商品として故人の思い出を供養する器「命の器」を開発した。</p> <p>R3年度は「命の器」の商品化、販売、併せて地域住民を巻き込んだ映像を制作し商品の情報発信を行う。</p> <p>①ポスター・サンプル制作費等（1,495）</p>	1,495,250	670,000	<p>・飯山仏壇の新たなコンセプトである「命は美しく尊い」のもと新商品「命の器」のサンプル製作が出来たが、新型コロナウイルスの影響もあり、製作機器が入手できず、新商品を通した知名度アップまで実現はできなかった。</p> <p>・次年度は商品化とともに、飯山仏壇や仏壇通りの活性化に取り組み、新商品を活用したブランド化の推進が期待される。</p>

8	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	飯山市	雪エネルギー推進事業	<p>飯山市では雪の利活用を検討するため民間事業者等と雪エネルギー検討会議を立ち上げ、市所有の雪室に酒やそば、野菜を貯蔵し、味や食感変化の実証実験や雪室商品の開発を行い、併せて首都圏でのPR等ブランド化を推進してきた。</p> <p>R3年度は、いいやま雪室関連商品の統一のブランディングを行う。また銀座NAGANOでの雪室商品PRを含めたセミナーの開催や「真夏のいいやま雪まつり」にて、雪室の体験ツアーを実施する。</p> <p>①雪室ブランディング委託料(385)、商品管理用消耗品(303)</p>	688,160	550,000	<ul style="list-style-type: none"> ・雪室の温度及び湿度の管理を行い、商品の味の変化や出荷時期の延長などの効果検証に加え、雪室商品のブランディングを行い、雪室をPRした。 ・ブランディング商品を4種類作成し、認知アップを図ったほか、雪室の環境整備を通して利用者の増加につながった。 ・豪雪地帯における雪の利活用のモデルとなるよう、引き続き発展的な取り組みが期待される。
9	安全・安心な地域づくり	ハード	藤沢区	雪国でも安心して生活できる克雪集落づくり事業	<p>R1年度から3か年計画で、長年の課題であった集落内の機械除雪ができない狭小道路を自然流水で消雪するための設備の施工、水路改修、排雪用タネの整備を行い、集落全体での効果的な除雪を目指している。</p> <p>R3年度は、流雪道路(R1年度施行)の一部に横断排雪水路を設置するほか、2箇所既存水路を改修する。</p> <p>②水路改修、原材料等(4,466)</p>	4,466,000	3,349,000	<ul style="list-style-type: none"> ・豪雪地帯の特性を知る住民が知恵を絞り、集落の豊富な自然流水による消雪を行うことで、冬季でも外出がしやすくなり、住民の安心感につながった。 ・豪雪という課題に住民同士が自ら考え、作業することで集落の課題の発見や意識共有が図られた。 ・引き続き、課題解決に向けた住民自らの事業実施に期待するとともに、モデル的な取り組みとして他地域への波及が期待される。
10	特色ある観光地づくり	ハード	斑尾高原観光協会	誰でも気軽にグラベルロードを走ろう！グラベルサイクル体験におけるe-MTBレンタル事業	<p>斑尾高原は、観光庁がR2年度から開始した、「国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業」に認定され、地域で国際競争力の高いスノーリゾートを形成する取組が進められているが、通年を通しての観光客誘客に課題が残っており、新たな観光コンテンツの造が必要である。</p> <p>斑尾高原山岳地帯の起伏があるコースを楽しむことができるグラベルサイクリング用のe-MTBを10台購入し、レンタル事業を行い、グリーンシーズンの誘客を推進する。</p> <p>②e-MTB購入費用(3,175)</p>	3,175,656	2,052,000	<ul style="list-style-type: none"> ・e-MTBの導入により、従来の下りコースを走る「ダウンヒル」だけでなく未舗装の林道やトレイルを走り自然との一体感をより全身で感じられる「グラベルライド」を楽しめるようになり、自転車愛好家を中心に、MTBの利用が増加した。 ・初心者など愛好家ではない層の取り込みや、関係団体と連携を図りツアー開催など取り組みを広げるなどして、斑尾高原におけるe-MTBの利用頻度と認知度の向上が期待される。
11	特色ある観光地づくり	ソフト	NPO法人信越トレイルクラブ	信越トレイル延伸に伴う広域観光推進事業	<p>信越トレイルはH30に全線開通10周年を迎え、R3には苗場山まで延伸されることから、コロナ収束を見据えた信越トレイルの魅力発信として、英語版のパンフレットと公式HPのリニューアルを行う。また、延伸に伴うトレイル全線踏破者向けに記念グッズを製作する。延伸記念シンポジウムでは、国内外のロングトレイル精通者を招聘して記念講演を行い、シンポジウム参加者向けの延伸区間を歩く記念トレッキングを実施する。</p> <p>①英語版HPリニューアル(1,496)、英語版パンフレット製作(385)、トレイル全線踏破記念グッズ制作(331)、全線開通イベント費用(805)</p>	3,018,272	2,407,000	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン配信した延伸記念イベントはリアルタイム視聴を超えるアーカイブ視聴があり、信越トレイル延伸への関心の醸成につながった。 ・延伸記念イベントの開催やホームページのリニューアルを通して、延伸等をPRしたことで入山者の増加等の効果が出ている。 ・アフターコロナを見据え、沿線の関係団体と連携を取りながらインバウンド誘客を含めた、PRの広がりが期待される。

12	特色ある観光地づくり	ソフト	一般社団法人信州 いいやま観光局	信越自然郷“ふるさとサイクリング”プロジェクト	<p>信越自然郷アクティビティセンターでは広域エリアでのサイクルツーリズムの取組として地域内にサイクルステーションの設置やコース整備等ハード面を充実させ環境整備を進めてきたが、グリーン期の誘客が未だ課題である。</p> <p>H30年度には事業者等で構成されるワーキンググループを立ち上げ、R1年度から支援金を活用してE-BIKEを導入し幅広いユーザー層に訴求してきた。</p> <p>R3年度も引き続き、E-BIKEのリースのほか、SNSやサイクル専門媒体を活用した情報発信を行う。</p> <p>①E-BIKEリース10台分(1,143)、SNSキャンペーン(521)、サイクル専門媒体PR(1,479)</p>	3,135,403	2,462,000	<ul style="list-style-type: none"> ・E-BIKEは起伏に富んだ当地域の地形を生かして楽しめるアクティビティで、密を避けながら環境にやさしい移動手段として注目が高いこともあり、レンタルの稼働率は前年度比で111%と右肩上がりが続いていて、定着が進んでいる。 ・今後も、信越自然郷他市町村と連携を図りながら、エリア内の周遊による滞在時間の延長と環境に配慮した観光コンテンツとしての可能性に磨きをかけ、発展的な取り組みと影響の広がりが期待される。
13	農業の振興と農山村づくり	ソフト・ハード	木島里芋研究会	伝統野菜(坂井芋)生産・販売量アップ事業	<p>飯山市木島地区の4集落(坂井・野坂田・下木島・天神堂)エリアでしか栽培できない坂井芋(里芋)は、県内外の市場や販売先の評価が高い伝統野菜となっている。しかし高齢化による生産者数と栽培面積の減少、近年の極端な干ばつにより出荷数量が激減している。</p> <p>里芋は乾燥に弱い作物のため、定期的にかん水が必須となっている。設備の無い生産圃場への突き井戸設置とポンプ・配管ホースを導入し安定した生産量を確保するとともに、知名度が低い坂井芋を広範囲にPRするため、坂井芋を紹介するパンフレットを作成する。</p> <p>①パンフレット制作費(225) ②突き井戸工事・ポンプ・ホース等配管設備費(2,507)</p>	2,732,600	2,060,000	<ul style="list-style-type: none"> ・「信州の伝統野菜」の坂井芋だが、乾燥に弱く平成30年には干ばつにより収穫量が激減したことから、安定的にかん水を行うため、突き井戸を設置した。これにより安定的なかん水が実施でき、収穫量は前年比で5%アップし生産の安定性につながった。 ・坂井芋のPRとして、小学生の収穫体験を継続するほか、粘りと食味の良さを生かしたレシピの開発や、卸先や関係者と連携を図り魅力の発信など、取り組みの発展が期待される。
14	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト・ハード	北原区	北原区くるみ祭り開催によるマルシェ持続化事業	<p>H20年度にオーナー制度を活用して、北原区内の遊休農地にくるみの苗を植え、育成作業を行ってきた結果、H28年度には一部の本で収穫ができるようになった。</p> <p>H29年度から道の駅「花の駅・千曲川」で販売を進めてきたが、知名度が低く販売量は増えないため、コミュニティビジネスの域から脱していない。</p> <p>そこで、R3年度は秋に収穫したくるみを区内で販売する「北原区くるみ祭り」を開催し、知名度の向上と販売量の増加を図る。</p> <p>①北原区くるみ祭り開催費用(備品購入、リーフレット、ポスター等)(444) ②会場整備費用(生コン舗装資材)(792)</p>	1,237,428	949,000	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫量が安定して来た一方で、課題であった知名度については、11月にくるみ祭を開催し、市内外から100人を超える来場者があり、想定を20kg超える約150kgのくるみ売り上げ、くるみのPRとともに地域に足を運ぶきっかけとなった。 ・オーナー同士の交流などを通して、北原区への愛着の醸成を図り、移住の足掛かりになるように取り組みを推進するほか、くるみまつりの開催やマルシェへの出店などを通して、北原区の知名度をアップや、持続可能な地域づくりが期待される。

15	保健、医療、福祉の充実	ソフト	一般社団法人信州 いやま観光局 (高橋まゆみ人形館)	医療機関、社会福祉施設等外出困難者向けの作品パネル無料貸出事業	<p>医療機関、社会福祉施設等外出困難者向けに、認知症、うつ症状改善効果があるとされる高橋まゆみ氏の人形の世界を映したパネルを無料で貸出し、コロナ終息後に、人々の心を癒す効果が高い高橋まゆみ氏の人形の世界を体感できる高橋まゆみ人形館及び北信地域への誘客を促す。</p> <p>①作品パネル無料貸出事業費（パネル・リーフレット制作費、輸送費等）（2,061）</p>	2,061,785	1,546,000	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルは、2種類のサイズで計26枚作成。貸出しは県内外から17件あった。利用者からは実際に人形館や飯山市を訪れたいという声も寄せられ、北信地域のPRや誘客につながった。 ・オンラインガイドを実施したことで、出向かずともガイドをすることができ、飯山市や作品への利用者の関心を引き出すことにつながった。 ・コロナ禍でも楽しめるパネルや作品現物の貸出の広がりを追及するとともに、オンラインを活用した対話型鑑賞の推進が期待される。
16	地域協働の推進	ハード	飯山市	協働のむらづくり事業	<p>住民と市が協働して農林業用施設を整備することにより、事業費を圧縮、施設の維持管理作業を軽減し、農林業生産の効率を高める。また、協働作業を通じて住民同士の交流、施設管理意識の向上を図る。</p> <p>事業実施予定32箇所、うち支援金対象：農林道舗装等12箇所、水路改修18箇所、林道舗装2箇所</p> <p>②原材料購入費（6,565）</p>	6,565,660	3,879,000	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進む農村地域での作業の労力軽減や、意欲向上が図られた。 ・住民が自ら施行計画を立て協働作業を行ったことで、自立意識の涵養と愛着をもった維持管理につながった。 ・地元負担金もあり、地域住民の連携と活性化につながっている。
17	特色ある観光地づくり	ソフト	一般社団法人観光教育・インターンシップセンター	山ノ内町で観光地インターンシップを活用したU・I・Jターン就職支援事業	<p>湯田中渋温泉郷、志賀高原という一大観光地を抱える山ノ内町では観光業に従事する人材が不足している。期間従業員等の派遣で対応している事業者が多いが、長期的視点で考えると、地域を愛し事業者の将来を考えると考えることができる中核人材を育成する必要がある。</p> <p>この課題を解決するため、観光業を学ぶ大学と連携してインターンシップを実施する。</p> <p>①インターンシップ費用（講師謝礼・交通費・旅費等）（1,248）</p>	1,248,850	999,000	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季と冬季に開催したインターンシップには、首都圏を中心に117人が参加し、旅館経営学等の座学をはじめ、実際の旅館研修など内容に富んだプログラムとなった。 ・参加者のうち3人はR4から正社員として採用され、実際に勤務しており、働き手の確保の面で、インターンシップの効果が現れている。 ・大学や旅館、観光業者等と連携を図り、学生インターンの取り組みを推進するとともに、就職後のアフターフォローにも力を入れるなど、働き続けてくれる環境づくりも期待される。
18	特色ある観光地づくり	ソフト	スノーモンキーONSEN・ガストロノミーウォーキング実行委員会	ONSEN・ガストロノミーウォーキングinスノーモンキータウン事業	<p>開湯1,300年余の歴史を誇る湯田中渋温泉郷をはじめとした温泉地の魅力、郷土料理や地酒、地域住民との触れ合いなどをテーマにしたウォーキングイベントを実施し、観光客の増加を図る。また、信越自然郷と連携した食材提供を行うことで、北信地域の「温泉」と「食」をPRするとともに、県内におけるONSEN・ガストロノミーツーリズムの浸透を図る。</p> <p>①イベント運営費（1,598）、チラシ、番組告知等PR経費（951）、スタッフ経費（597）、イベント認定経費等事務費（317）</p>	3,465,052	1,730,000	<ul style="list-style-type: none"> ・シナノスイートや信州牛などの食の魅力だけでなく、北信五岳を臨める温泉街やリンゴ畑などをコースとして設定し、また日帰り入浴券を配布したことで、山ノ内町を1日で満喫できるイベントとなり、参加者から高い満足度を得る結果となった。 ・企画内容や開催時期を検討しながら、町の魅力発信と湯田中渋温泉郷のグリーンシーズンの誘客につなげられるように事業の継続が期待される。またアフターコロナを見据え、インバウンドの取り込みにも期待される。

19	農業の振興と農山村づくり	ハード	北志賀レインボー倶楽部	須賀川そばの増産と遊休農地対策事業	<p>須賀川地区の営農団体として、R2年は須賀川そばを6.76ha栽培し3.9tを収穫し、地元そば店、そば祭り等イベント、道の駅や町内ホテルを中心に出荷するとともに、ふるさと納税の返礼品に選ばれるなど需要が増えている。</p> <p>一方で、農家の高齢化や農業後継者が減少しており将来の担い手不足や遊休農地の拡大が危惧されている。</p> <p>このような課題を解決するために、トラクターを購入し、生産稼働率を上げるとともに、新たに若い会員の募集を行うことで組織・事業継続とSNS・ネットを通じた販売強化を行う。</p> <p>②トラクター購入費用(1,408)</p>	1,408,000	1,056,000	<ul style="list-style-type: none"> ・トラクターにより、作業の効率改善と負担軽減が図られ、遊休農地の削減と収穫量アップにつながった。 ・またチラシ作成やラーメン店とのコラボ企画により、認知度アップのきっかけとなった。 ・トラクターの活用により、遊休農地の削減を一層進めていただきたい。 ・遊休農地の削減と収穫量の安定化に向けて、PRを続けていくことに加え、新しい担い手が参入しやすいように受入体制や環境整備を行い、そばを活かした振興が期待される。
20	地域協働の推進	ハード	山ノ内町	地域協働で農業に活力を与えるための施設整備（農業用水路縞鋼蓋の設置、農道舗装）	<p>高齢化等により農業経営の先行きが不安定な中、地域住民が協働で農道等の整備を行うことにより地域のつながりを深め、農業に活力を与える。</p> <p>②農業用水路縞鋼蓋設置1地区 原材料費(960)、農道舗装2箇所 原材料費(2,054)、広報表示費(46)</p>	3,061,162	1,530,000	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進む農村地域での作業労力の軽減が図られた。 ・住民自らが計画から協働作業まで行ったことで、自立意識や生産意欲の向上が図られたほか、愛着を持った維持管理につながった。
21	環境保全、景観形成	ソフト・ハード	特定非営利活動法人太陽と水と緑のプロジェクト	安全・安心な魅力ある木島平エコヴィレッジ・ゼロカーボン推進事業	<p>道の駅にラミネーターを設置し、ワークショップで村民がソーラーパネルを作成する。緊急時に対応可能な稼働式ミニマム緊急対応装置を村内5集会場に設置、超小水力発電機の設置、村内とカヤの平キャンプ場に小ソーラーパネルの設置、小太陽光発電を活用した多機能電気柵を村内に設置する。学習会・ワークショップにより、自然エネルギーへの村民意識の高揚を図る。</p> <p>①超小水力発電設置2台(198)、小型ソーラーパネル50台(484)、講師謝金等ワークショップ経費(269)</p> <p>②ラミネーター設置(1,298)</p>	2,249,769	1,726,000	<ul style="list-style-type: none"> ・水路を利用した超小水力発電や小太陽光発電の地域住民へのモニタリングを通して、自然エネルギーへの理解促進につながった。 ・通年を通じたソーラーパネルの活用が難しい豪雪地帯におけるゼロカーボンの推進に向けて、地域住民を巻き込んだワークショップの開催や、災害時における電源確保等の課題解決に向けて、実践的な取り組みが期待される。
22	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	木島平村移住定住促進協議会	コロナに負けない移住定住推進PR事業	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言の発出や、多様な働き方の推奨など新しい生活様式の波及により地方移住への機運が高まっている。田舎暮らし情報誌等で全国上位にランキングされるなど、木島平村が持つ魅力や移住推進施策等により、移住先として注目されている。</p> <p>しかし、コロナ禍による移動制限や自粛等により、移住セミナー等へのイベント参加や開催など積極的なPRが行えていない。</p> <p>この課題に対応するため、非接触型で移住情報を発信するツールとして田舎暮らしをイメージできるPR動画を作成し、インターネットやSNSなどを活用してPRを行う。</p> <p>①PR動画制作費用(999)、事務消耗品費(18)</p>	1,018,030	814,000	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワークの推進等により地方移住に関心が高まる中、北信地域は新幹線駅もあり人気が高いが、木島平村はPRが遅れていた面があった。動画には、実際の移住者の声や、豊かな自然や子育て環境の良さを盛り込んだことで、村の魅力が伝わる内容となった。 ・動画サイトでの視聴のほか、移住希望者向けのフェアやイベント等で動画を活用することで、移住先として木島平村が選ばれるように、活動の広がり一層の工夫が期待される。

23	農業の振興と農山村づくり	ソフト	木島平村	さらなる良質米産地を目指してジャンプ～木島平米PR推進事業～	<p>村の農産物生産額の3割を占める水稻は、木島平米として米・食味分析鑑定コンクール国際大会で13年連続入賞するなど優良米産地として全国的にも認知され始めている。</p> <p>R3年度に同コンクールの国際総合部門で金賞を受賞すると、全国で2例目となる「WRA(WORLD RICE AWARDS) GOLD 10」の受賞対象となるため、金賞受賞を目指し、先進地視察を行い、受賞した場合は、村内外にPRし、さらなるブランド化を図る。</p> <p>①PR活動経費(1,393)、PR動画制作費(1,001)</p>	2,395,064	1,916,000	<ul style="list-style-type: none"> ・「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」で14年連続となる入賞を果たした。受賞実績に加えて、木島平米の魅力を広く伝えるべくPR動画の作成や、SNS広告やラジオでの紹介等により、優良米産地として全国に認知を広げたほか、ブランド化を推進した。 ・賞の受賞と米の品質向上に向けた取り組みを継続することに加え、PRを実施する地域や場所の拡大、賞を付加価値としたさらなる販路拡大等を検討していただき、PR動画の活用等によりさらなるブランド化につながる取り組みが期待される。
24	商業の振興	ソフト・ハード	野沢温泉スタンプ会	ポイントカードを地域通貨に！新・ゆーゆーカードでふるさと活性化！	<p>村内の商工業者40店が加盟する野沢温泉スタンプ会では、落ち込んだ村内消費を取り戻し、地域経済の活性化を図るために、ポイントを地域通貨としても活用できる新たなポイントシステムを導入する。</p> <p>なお、この地域通貨は、村税及び上下水道料金の支払にも活用できる。</p> <p>①タブレット端末費45台(加盟店40台、本部1台、イベント用1台、役場1台、JAながの1台)(4,445)、ポイントカード作成費・製版費(5,000枚)(962)、端末ソフト初期導入費用(533)</p> <p>②本部管理システム費(770)</p>	6,711,100	4,968,000	<ul style="list-style-type: none"> ・機器等の老朽化が進んでいた旧システムに代わり、電子マネーやキャッシュレス決済に対応した新システムを導入したことで、利便性が向上し村民の新カード保有率が50%を超えるほどにまで普及が進んだ。 ・今後は、アプリ化などさらなる利便性の向上に向けて取り組みを進めるほか、インバウンドや観光客のキャッシュレス決済の需要を取り込めるよう、村や観光事業者等と連携を図りながら取り組みの推進が期待される。
25	地域協働の推進	ハード	野沢温泉村	手づくり林道舗装等事業	<p>農地・林地の荒廃を防ぐため、地元住民が互いに協力し必要な林道舗装等を行い、農作業の効率化と生産意欲の向上、林業振興を図る。</p> <p>②原材料費支給 林道2箇所(589)</p>	589,270	392,000	<ul style="list-style-type: none"> ・農林業従事者の高齢化や後継者不足が進む中、林道を整備したことで、安全な通行と利便性が確保され、作業労力の軽減と農家等の生産意欲向上につながった。また、住民が自ら整備することで自立意識の醸成につながった。
26	教育、文化の振興	ソフト・ハード	ふれあい会	楽しみのある地域づくりⅡ	<p>栄村には、さるぼぼなどの伝統工芸、あんぼなどの郷土料理があるが、人口減少や少子化により、若い世代がこの地域に適応した技術や知恵に触れる機会が減ってきている。</p> <p>そこで、技術や知恵を持つ団体が、主に子育て世代を対象に子ども用のちゃんちゃんこや半纏づくり、簡単にできる郷土料理講習会を開催することで若い世代でも伝統に親しみやすい環境をつくり、次の世代へ継承していく。</p> <p>①郷土料理教室使用調理器具等(305)</p> <p>②IH調理器(140)、スチームオーブン(151)</p>	597,990	460,000	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸や郷土料理に若い世代への伝承を通じて、高齢者のやりがいやコミュニティ維持につながった。 ・新たに会員2名が加入するなど、会の取り組みの広がりが成果として出ている。 ・今後も、高齢者が無理なく楽しめる活動の場を維持するとともに、若い世代へ伝統が継承されるよう期待される。

27	商業の振興	ソフト・ハード	小赤沢活性化倶楽部	クロモジで元気な地域づくり	<p>少子高齢化率が著しい、栄村秋山地区の新たな地域内雇用を創出するため、同地区に多く自生する「クロモジ」を活用して、商品の製造販売を行う。</p> <p>また、クロモジのアロマ作り体験など、観光振興を目的としたプログラムを創り、秋山地域のPR及び同地域内の宿泊業の振興を図る。</p> <p>①精油採取装置に係る消耗品費等(ペール缶タイプ及びドラム缶タイプ) (182)、その他消耗品(包装容器等) (82) ②備品購入費(チッパーシュレッダー) (271)</p>	536,346	319,000	<p>・人口減少と高齢化が著しい現状を打破するため、地域に自生する「クロモジ」に着目し、精油や芳香蒸留水の製造と販売をした。精油等は栄村ふるさと納税返礼品に指定されるなど、広く注目を集めるまでとなった。</p> <p>・住民が一から手掛けた商品の開発により、雇用環境の改善や、事業に対する意欲向上につながったほか、雇用拡大や観光振興の基盤づくりとなった。</p> <p>・商品のPRや販売方法、販売箇所を検討により、売り上げや認知を伸ばしていくとともに、体験ツアーの開催により、宿泊業や観光業への効果の波及が期待される。</p>
28	その他（産業の振興及び雇用の拡大）	ソフト	栄村秋山郷観光協会	森宮野原駅周辺環境整備事業	<p>R2年度は駅から道の駅に続く千曲川遊歩道を整備し、村の新たな観光資源とした。また、長野大学と協働して駅前周辺店舗のシャッター10箇所絵を描いてもらいSNS等で発信した。さらに主要な観光スポットである秋山郷天池に周辺の案内看板を設置した。</p> <p>R3年度も引き続き、駅前周辺の花壇、遊歩道整備、長野大学と連携した商店街シャッターアートの取組、レンタサイクルの推進を行う。</p> <p>①森宮野原駅周辺花壇整備 (124)、千曲川遊歩道の整備 (185)、駅前シャッターアート消耗品 (56)、レンタサイクルチラシ作成等(169)</p>	536,413	425,000	<p>・満足度向上による観光客の増加に向けて、地域住民や長野大学の学生と連携して森宮野原駅周辺で、シャッターペイントやレンタサイクル千曲川遊歩道の整備等の環境整備を行い、利用者の増加につながった。</p> <p>・レンタサイクルについては、新潟県内を含め、周辺地域と連携を図りながら事業の広域化を進めるほか、SNSを使ったキャンペーンを行うなど、広く魅力が伝わるような取り組みが期待される。</p>
29	その他（産業の振興及び雇用の拡大）	ハード	栄村	農地等国土保全事業	<p>農業従事者の高齢化が進む中、農業用施設の維持管理作業の軽減を図るため、集落等の要望により改修が必要な農道及び用排水路等について、村が原材料等を支給する。</p> <p>②原材料支給:農道舗装4等箇所、水路等改修8箇所 (1,981)</p>	1,981,628	1,122,000	<p>・高齢化が進む農村地域での作業労力の負担軽減が図られた。</p> <p>・住民自らが計画から協働作業まで行ったことで、自立意識や生産意欲の向上が図られたほか、愛着を持った維持管理につながった。</p> <p>・地元負担金もあり、地域住民の連携と活性化につながっている。</p>

全29事業